

長尾小PTAおやじの会主催『平成22年度 子育て座談会』
『他人の痛みを想像できない時代に子どもたちにちゃんと伝えるべきことがある!』

< 講演会アンケート集計結果 >

参加人数 男：23名 女：9名 計：32名

設問1．該当の立場に をつけてください。(保護者 先生 その他)

保護者：20名 先生：6名 その他：4名 無記入：2名

設問2．小学校のお子様がいいらっしゃる方は学年をご記入ください。

1年生：1名 2年生：5名 3年生：3名 4年生：4名 5年生：5名 6年生：3名

設問3．参加動機を教えてください。

毎年参加しているから : 5名

テーマに興味があったから : 10名

誘われたから : 13名

ただ何となく : 0名

その他 : 1名

設問4．『教育プロレス』はご存じでしたか？

知っていた：9名 聞いたことはある：5名 知らなかった：11名

< 今回の座談会の感想をお聞かせください >

- ・以前思っていた教育プロレスより、今回直接聞いてみて小学校でもやって良いのではと少し思った。
- ・貴重なお話を聴けてよかったです。友達と取っ組み合いのケンカをすることもなく、親や先生からも手を出されることもない今の子どもたちにどうやって人の痛みをわからせるか難しいですね。福岡をはじめ九州内で活動する場が広がることを願っています。
- ・子どもへの“痛み”について、伝わり理解してもらういい内容だと思います。感動しました。

- ・途中からの参加になり申し訳ありませんでした。
以前から『教育プロレス』については情報として知っていましたが、それぞれの年齢に合わせたシチュエーションに対して体を張って教えてくれる大人がいるという事は非常に素敵なおことだと思います。
おっしゃる通り今の子どもは“死ねばいい”“ムリ”とよく言います。バーチャルの中で生きているからなのかゲームのようにリセットできると思ひ込む子どもが数多くいるのかと思うと怖いのです。痛みを教えられる親でいたいと思いました。
- ・初めの『プロレスが好きな人！』との質問に『どちらでもない』と答えましたが、私の家族は父、母、姉と大のプロレス好きです。主人もプロレス大好きで子どもにプロレス技をかけてよく泣かします。主人はただ楽しんでいる様にしか見えませんが、今日の講演をきき、教育につながるんだと考えさせられました。実際の映像を見ていて思ったことは、試合がすすむとともに子どもの顔つきが変ってきたなと感じました。
子どももですが保護者として恥ずかしながら、保護者の教育が本当に大切になっている現実が悲しくもあり・・・しっかりしないとと思いました。
- ・無関心・無気力で生きるより色々な事にチャレンジする人間でいたいと特に強く感じました。自分なりに出来ることを見つけるのは素晴らしいことだと思います。
これからもがんばってください。私も自分に出来る事、少し頑張る事を続けていこうと思います。素敵なお方でした。
- ・留守家庭の先生のお手伝いに行くことがあるのですが子どもたちは大人（先生）の事をよく観察していると思いました。学校の先生とは違い母親的なことを求めてくる子が多いのですが『先生！本気で怒ってないやろー』とか本当に見抜いているのです。何事も本気でぶつかっていきたいと思いました。
- ・親としての実体験を元に子どもたちへ教える大切さ。福岡で是非教育プロレスを開いて欲しい（長尾小で）
- ・体を使ってこそ教えられるものがあるということを改めて知りました。
座学だけでなく体で覚える事の必要性を感じます。
- ・ビデオの中で子どもが本気で痛そうな顔をしているのがよくわかった。

- ・今回、座談会に初めて参加させて頂きました。子どもたちに伝えるべき事を自分の体を使って指導する姿に大変共感しました。自分もおやじとして子どもに伝えるべき事を真剣に伝えていきます。
- ・『教育プロレス』という言葉は初めて聞きました。教育が軸のプロレスで言葉や画像ではなかなか伝わらない人の痛みや命の重さを直にみることにより痛切に感じとることが出来、とても大切なことを得られ教育法だと思いました。
幸村先生がとても努力されて、なりたいプロレスラーになった事の話聞き感動しました。子どもにも今日の話聞かせたいなと思いました。
- ・小学生でも中学生以上になれば善悪の区別はついていると思います。今は自分さえよければとか周りの人に迷惑をかける行動を平気とする子どもが多いのではと思います。
『人の痛み』『苦しみ』を分かるのは難しいと思います。特に『心の痛み』というのは体験した人じゃないと分からないと思います。『相手を思う心』がもっとあれば良くなるのではと思いました。
- ・教育プロレスの目的や意義について理解できました。
幸村さんも小川さんも自分の考えをしっかりとっていてプロ意識の強さを感じました。経費15万円等を必要とするということで、福岡市で実施するとなると検討の余地があります。
- ・私も『痛み』を理解させるためにどのようにすればよいのか悩みの種です。
今日のことも参考にして子どもたちに伝えられれば良いかなあと思いました。
- ・ふれあいフェスタなどで来ていただいて長尾小でも皆で見て考える場を設けてもよいのではないかと思います。でも体育館でバザーがやりにくくなるので難しいでしょうか？
『卑怯』ってことを教える大人が多いので『卑怯』ってことを知らない子どもばかりの様な気がします。『卑怯』な子どもが『卑怯』な大人になってとんでもない世の中になっては大変です。教育プロレスで『卑怯』なことを教えてもらうことは大切なことです。

- ・本日は講演ありがとうございました。幸村さまの生きざまに感動しました。特に熱意を持って仕事として取り組んでいること。子どもたちへの話としてはいい話だと思います。今日の話の中では次の言葉が心に残っています。
『言葉じゃなくてやって見せる可能性。人の痛みがわかる子は思いやりの心に繋がる使命感などです。』本日はありがとうございました。
- ・『教育』と『プロレス』がどう結びつくのかイメージが湧きませんでした。幸村さんのお話を伺い映像を見せていただく中で、深く考えられているものだと理解できました。生で本物を見ることを通じて子どもが大人が変っていくことはとても良いものだと思います。
- ・人の痛みがわからない子どもたちにはどうやって伝えたらよいのかと常に考えていました。リングの上で実践できるのだとは目からウロコでした。頭のかたい先生たちの多い学校や保守的な保護者をどう説得するかがネックだと思います。
- ・小川さんから前々からお話を聞いておりましたが、今回の幸村さんのお話を聞いて是非うちの小学校で開催していただければと思います。校長やPTA会長に働きかけてみますので、その時はよろしくお願いします。
- ・教育とプロレスとどのように関係があるかと思いましたが、お話を聞いていろいろとテーマを替えてされてるから勉強になりました。
- ・現在、兄弟が少なくケンカのやり方がわからない(痛みがわからない)状況で、切れた場合は刃傷ざた(殺人等)に発展する。
プロレスという格闘技を通じ痛みのわかる子どもたちを育てるのは素晴らしいことだと思います。今後も広く周知してください。頑張ってください。
- ・今日は教育プロレスの座談会ありがとうございました。
プロレスを通じて人の痛みを教える方法に驚かされました。ゲームばかりしている今の子どもたちにはとても意味のあるものだと感じました。
プロレス・・・大人が見ただけでも痛そうです。

・おやじの会の皆様。本日はお疲れ様でした。

今日参加させて頂き、いろいろなお話をしてはいただきましたが、心にどうしても響きませんでした。それがなぜなのか？どうしてですか？と言われても答えようがないのですが。人はそれぞれ想いがあります。一生懸命やられているのはわかるのですが・・・
すいません。

・まだよく分からない。